



あべきみこ活動 REPORT

あべきみこ事務所

〒131-0043
墨田区立花4-1-8
Tel.03-3610-0777
★URL: <http://www.abekimi.info>
★e-mail: abekimi@abekimi.info



《 2012年 活動報告新春号 》

墨田区議会議員あべきみこ
民主クラブ 広報・宣伝紙
東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6197 (直通)

拝啓 新春の候

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

3.11の東日本大震災から10カ月が経ちますが、被災地では寒さ対策、瓦礫処理、放射線物質の除染等様々な問題を抱え、大変な日々を過ごしていらっしゃると思います。墨田区でも被災地への支援や被災者の受け入れ、義援金の受付、節電の協力、宮城県の女川町からの災害廃棄物の受け入れ等行ってきました。まだまだ復興までは長い道のりですが、大きな困難に立ち向かい、未来へと進む被災地の皆様をこれからも応援していきたいと思えます。

明るいニュースでは、今年は東京スカイツリーが開業します。東京スカイツリー開業を契機に国際観光都市への転換、下町情緒豊かな観光まちづくりの推進を図り、地域経済の活性化を目指して参ります。すみだで暮らす皆様が安心していきいきと暮らし、地域の支えあいの中で、子育て世代や高齢者の皆様が住みなれたまちで暮らし続けられるよう全力で努めて参ります。本年も引き続き皆様のご支援・ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。

Action1 政策制度要求



毎年、連合墨田の皆様と提出している政策制度の要求書を山崎区長に提出しました。

政策制度の要求書は連合に加盟している組合員の皆様のご意見や要望を元に、雇用・労働対策、環境、安心安全の街づくり、交通対策、教育・子育て、福祉対策等多岐にわたり組合員の皆様のご意見・ご要望を集約し、政策制度の要求書として取りまとめたものです。

皆様から頂いたご意見・ご要望が区政で反映できるよう要望書を元に活動させていただきます。

Action2 放射線量の測定

昨年墨田区では、区内の幼稚園、保育園、小中学校や公園、屋外運動場等での測定や文部科学省・日本原子力開発機構が「放射線測定に関するガイドライン」を策定したのを受けて、区内で放射線量が比較的高いと思われる墨田・八広・東墨田・立花等の一部地域の各施設（保育園、小中学校、公園・児童遊園等）の放射線量を測定し、基準値を超えた4カ所については土の入れ替え等除染を実施しました。

また放射線について正しく理解することにより、様々な情報に惑わされることなく区民の皆さまの不安等に冷静に対応できるよう、保育園、幼稚園、小学校、中学校の関係者を対象に都立墨東病院の診療放射線科の小山和行部長をお招きしてに講演会を開催しました。

放射線量の測定（隅田公園では平日毎日）結果は墨田区のホームページに掲載されています。

※詳しいお問い合わせは各担当まで

☆放射線量の測定に関すること

区民活動推進部環境担当環境保全課
電話：03-5608-6210

☆放射線の健康相談に関すること

向島保健センター
電話：03-3611-6135
本所保健センター
電話：03-3622-9137



Action3 本会議質問

11月28日から平成23年度の第4回定例会が始まりました。翌日29日に私は一般質問を行いました。通告内容は高齢社会に向けて墨田区の高齢者対策や福祉の充実について「東京スカイツリー」開業に向けての街づくりと交通対策について山崎区長に質問いたしました。今回の報告では高齢者福祉の充実を求めた質問を報告させていただきます。



《質問1》

墨田区ではみまもり相談室設置から2年が経ち、今までの成果はどうだったのか。みまもりの必要な人たちのあらいだしや高齢者支援総合センターや医療機関との連携を、どのようにしているのか、今までの成果について伺う。

これからのみまもり相談室は、閉じこもり、認知症、介護問題など高齢者が抱える問題を早期発見し、見守りや声かけ、適切な機関との連携などを行うことにより、安心して暮らせるまちづくりを目指していくことです。地域の高齢者を見守り、気がかりな人を発見したときにみまもり相談室が連絡を受け支援を行う仕組みを構築するための、具体的な施策について伺う。

《質問2》

緊急通報システム普及について伺う。緊急通報システムは緊急時だけでなく健康相談等にも利用でき、一人暮らしのみまもりに繋がる。今後の高齢者の緊急通報システムの普及促進について区長のお考えを伺う。

《質問3》

高齢化が進む中、介護現場では慢性的な人手不足と、ヘルパー等介護従事者への処遇の改善等抱える中での良質な介護サービスを提供するために墨田区ではどのように対策を行っていくか伺います。



《答弁1》

ハイリスク高齢者の実態把握については現在名簿を作成中。高齢者支援総合センター等の連携については認知症高齢者の支援を進めるため連携会議を開催し、介護保険の申請や各種高齢者向けサービスの利用につなげる取組を行っている。

高齢者みまもり相談室の今後の展開は、ひとり暮らし高齢者などを地域で孤立させないために、民生委員、町会、自治会、老人クラブをはじめとする地域団体、医療機関、さらには商店街、配食サービス事業者等、高齢者を取り巻く多様なチャンネルと連携した密度の高い見守りネットワークを構築していただきたいと考えている。

《答弁2》

緊急通報システムは、見守りが必要な高齢者が24時間安心して生活を送れるための重要な役割を担っている。夏に実施した熱中症予防チラシの郵送に併せて緊急通報システムのチラシを同封したところ、大きな反響があった。今後も町会・自治会、老人クラブ等の「みまもり講座」の中で説明を行うなど、様々な機会を捉えてPRに努めていきたい。

《答弁3》

良質な介護サービスを提供するための対応については、介護現場には様々な問題が内在し人材確保が難しいことは指摘の通りで、国を挙げて対策が求められていると認識している。そのうえで良質な介護サービスを提供するためには、介護保険事業者連絡会を開催し、専門家による講習を実施し総体的なレベルアップを図るほか、ケアマネージャーを非常勤職員として採用し、事業者に対しケアプラン検討会をケアプラン作成のレベルアップを図っている。人手不足の一環として外国人介職員の日本語習得を基礎から支援するなど、外国人介護人材の育成を図っている。こうした事業を継続し良質な介護サービスの提供を行えるよう努めていきたい。

ただ今、あべきみこ後援会「墨田げんき応援団」への参加を大募集しています。後援会にご加入いただき、「あべきみこ」と一緒に『元気なすみだ』をつくりましょう。

★問い合わせ先★

〒131-0043東京都墨田区立花4-1-8
TEL : 03-3610-0777 fax : 3610-0770
mail : abekimi@abekimi.info

